

いよし議会だより

～ もっと知ってほしい 議会のハナシ ～

2026
11.1
No. 86



議会ってなに？

伊予市議会（議会）では、市民の皆さんが豊かに暮らせるよう伊予市についてさまざまなことを話し合っており決めています。今回は、その議会の仕組みや役割を紹介します。

議会とは

私たちが暮らすこの伊予市をもっと快適に住み心地のいいまちにするには、どうすればいいでしょうか。伊予市に住む約3万4千人の皆さんが話し合っている。話し合うことは、大勢で集まり話し合うことはできません。そのため、18歳以上の市民の皆さんが選挙を行い、25歳以上の立候補者の中から「私たちの代表」を選び、話し合うことにしています。

この選挙で選ばれた代表者（議員）が話し合う場を「議会」といいます。

議会は何をする場所？

議会は皆さんの代表として、市長や議員から提出された議案を審査し、これからの市の方向性を決定するところです。 ※「議案」とは、市長や議員から提出される条例や予算などの案のことをいいます。

今後の計画やお金を決める
市のルール（条例）や、市が使えるお金（予算）などについて話し合っているところです。

市の仕事がいかに進められているかをチェックする
市の事業や事務が適正に行



われているか調査やチェックをし、問題点があれば市長に対し質問や指摘、改善要求を行うところでもあります。

市民の声を市に届ける役割
議員は皆さんから受けた相談をもとに、市へ改善の提案や質問を行います。

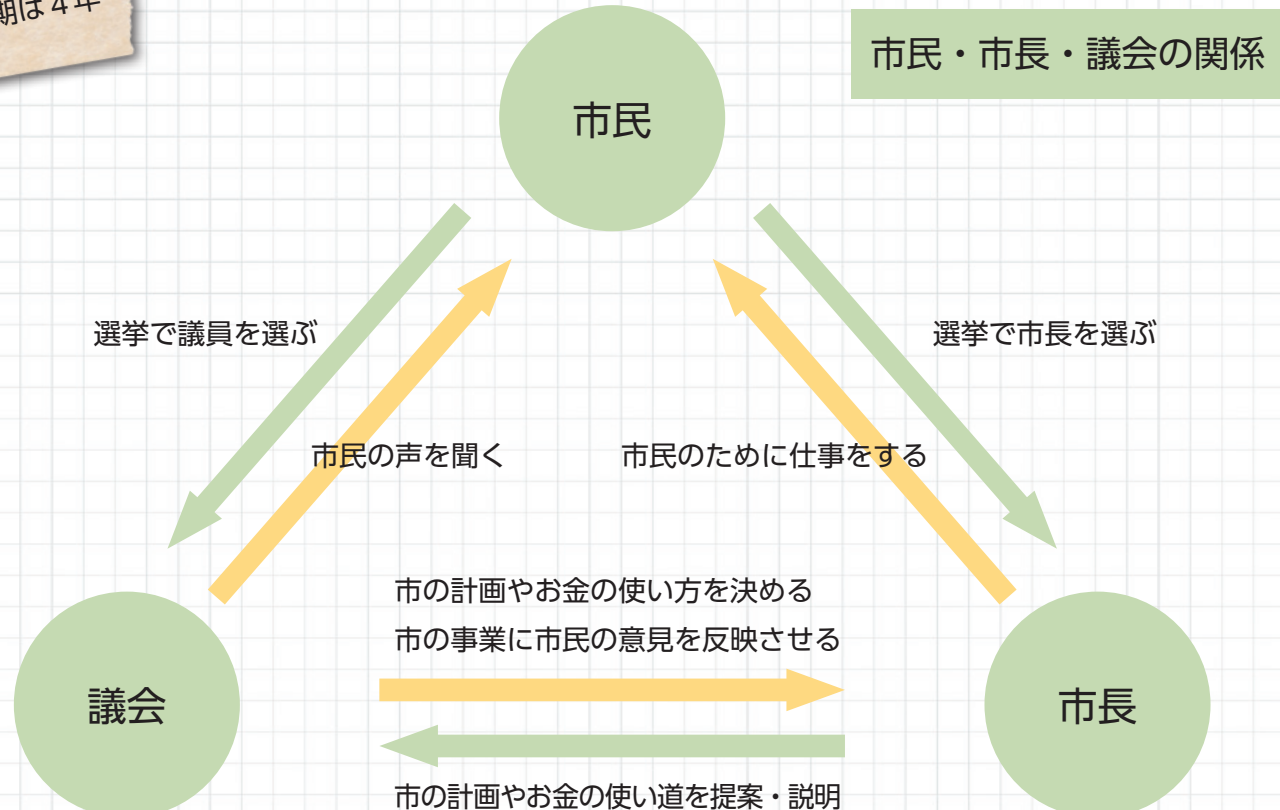
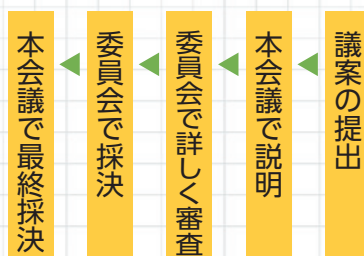
「定例会」と「臨時会」

議会は、「会期」とよばれる期間に開催されます。
定例会：年4回（3・6・9・12月）開催
臨時会：急ぎの案件があるときに開催

市長との関係

市長は議会で決定されたことをもとに、より一層暮らしやすい市を目指し、さまざまな分野の事業を実施します。

議案が決まるまでの流れ



伊予市
議員定数は16人
議員の任期は4年

議会を傍聴しませんか
議会の傍聴は、生で市政の動きを知る絶好のチャンスです。ぜひ一度、議場へ足を運んでみてください。傍聴を希望される方は、議会の会期中に市役所5階の議会事務局へお越しください。



まさおか 副市長

議会だよりをリニューアルしました

「手にとってもらえる、見てもらえる、読んでもらえる」議会だよりを目指し、紙面をリニューアルしました。より身近で読みやすい議会だよりを皆さんに届けられるよう、これからも親しまれる紙面づくりに努めてまいります。



くば 委員長

表紙の紹介

8月29日にオープニングを迎えた郡中港駅前広場。議会だよりのリニューアルを機に、住民や学生の声から生まれたこの新たな憩いの場を舞台に、ここから笑顔を広げていくことをイメージして、アニメ「私を喰べたい、ひとでなし」(通称「わたたべ」)の作者である苗川采(なえかわさい)さんに、キャラクターイラストを描いていただきました。苗川さんは愛媛県在住で、伊予市にもゆかりのある方です。「わたたべ」と伊予市は、さまざまな「コラボ」で市の魅力を発信しています。

私を喰べたい、ひとでなし

海辺の街で暮らす比名子の前に、人魚の少女・汐莉が現れる。いずれ「喰べる」と約束した汐莉に守られながら、ふたりの不思議な日々が始まる。

もくじ

P 2～3	特集 議会ってなに？
P 4～5	常任委員会審査報告
P 6	議案と審議結果
P 7～10	一般質問
P 11	議会のおもな動き
P 12	中学生を支える情熱指導者

常任委員会 審査報告

9月14日・15日開催

オレゴン州
カイザー市との
姉妹都市の連携

調印式はどのように行うのか

答 伊予市で受け入れ態勢を整える

総務文教委員会

姉妹都市の提携

問 アメリカ合衆国オレゴン州カイザー市との姉妹都市協定の締結について、相互理解と友情を増進し、これまでの友好関係をさらに推進することだが、オレゴン州とは15年以上にわたり中学生の海外派遣を通じて友好関係を築いてきたことを踏まえ、来年2月に予定している調印式をどのように実施するのか。

答 これまで築いてきたつながりを大切にしていきたいと

考えている。当初は市長ほか2名が現地に赴いて調印式を行う予定としていたが、先方から伊予市を訪問したいとの意向が示されたことから、今回の補正予算では、現地への渡航に係る予算を取りやめ、伊予市においてカイザー市からの訪問団を受け入れるための予算を計上しており、しっかりとした受け入れ態勢を整え、歓迎したいと考えている。

防犯灯および防犯カメラ設置費補助金

問 当初予算では広報区からの要望数を計上していたが、国の物価高騰対応重点支援

地方創生臨時交付金の活用が可能となったことに加え、広報区から防犯灯のLED化などの要望があったことから、今回、追加計上したとのことであるが、防犯灯は地元が設置しているため管理も地元が行っている。町内会の高齢化や脱退などにより、防犯灯を設置していても電気代を負担できず、点灯していない地域があることから、太陽光を利用した防犯灯の設置について検討する考えはないのか。

答 現在の補助要綱は補助額に上限を設けているが、今後は太陽光を含めた設備について費用などの調査を進め、現在の補助金の範囲内

で対応可能かどうかを検討し、必要であれば要綱の見直しなどを行う。

郡中小学校トイレ改修工事費

問 現在、郡中小学校では、長寿命化改良工事に併せて、校舎ごとに大規模なトイレの洋式化を進めているとのことであるが、ほかの小学校の改修の見通しは。

答 今回は児童数が多く、老朽化が進んでいる郡中小学校を優先して実施しているが、その他の学校については、来年度は伊予中学校の設計、それ以降は学校からの要望を踏まえ、順次対応していく。

民生産業委員会

長期在留者住居地届出等事務国庫委託金返還金

問 令和8年6月からマイナンバーカードと外国人在住者が持つている在留カードおよび特別永住者証明書が一体化されることに伴い、当初予算で情報連携端末の購入費を対象経費として計上していたが、今回の返還の理由は。

答 地域事務所での外国人の住基異動の受け付けを行わないこととしたため、端末の購入の必要がなくなり、委託費を返還することになった。

問 地域事務所では住基異動の受け付けを行わないことは、利便性の低下につながるのではないのか。

答 中山、双海地域に居住する外国人の数がそれほど多くないことから、近年の住基異動の人数も踏まえ、地域事務所と協議の上で決定した。

高齢者補聴器購入費助成金

問 申請件数実績が当初予算の範囲を超えることが想定されることから、追加予算を計上することであるが、現在の申請件数と今回の補正によって年間では何件分の申請に対応できるのか。

答 令和6年度は18件、令和7年度は25件、令和8年度は9月10日現在で23件の実績となっており、今回の補正予算計上により年間で53件分の申請に対応できる見込みである。

問 今後対象を拡大する予定はあるのか。

答 昨年度初めて実施された事業であり、今年度も継続でき

答 令和6年度の開始時点では住民税非課税世帯を対象としていたが、他市町の実況を調査した結果、今年度からは本人が住民税非課税であることを条件に変更している。そして、この変更の影響を見た上で、来年度以降の要件緩和について検討していく。



伊予地区在宅当番医制運営事業委託料

問 伊予医師会に対する休日の在宅当番医事業の委託料となく補正予算で計上した理由は。

決算審査特別委員会を設置しました

令和7年度の伊予市の歳入歳出決算（お金の使い道や収入の状況）が適正に行われたかどうかを審査します。

（令和8年9月4日設置）

委員長 正岡満 副委員長 大野鎮司
委員 門田裕一 日野猛仁 北橋豊作 川口和代 久保光幸

議案と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
報告第 12	株式会社プロシーズの経営状況	受理
報告第 13	令和7年度伊予市財政健全化判断比率等の報告	受理
報告第 14	令和7年度伊予市継続費精算報告書	受理
報告第 15	令和7年度伊予市水道事業会計継続費精算報告書	受理
報告第 16	令和7年度伊予市下水道事業会計継続費精算報告書	受理
報告第 17	和解及び損害賠償額の決定の専決	受理
報告第 18	令和8年度伊予市一般会計補正予算(第5号)の専決	原案承認
報告第 19	令和8年度伊予市一般会計補正予算(第6号)の専決	原案承認
認定第 1～10	令和7年度伊予市一般会計歳入歳出決算の認定／令和7年度伊予市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定／令和7年度伊予市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定／令和7年度伊予市飲料水供給施設特別会計歳入歳出決算の認定／令和7年度伊予市浄化槽整備特別会計歳入歳出決算の認定／令和7年度伊予市伊予港上屋特別会計歳入歳出決算の認定／令和7年度伊予市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定／令和7年度伊予市都市総合文化施設運営事業特別会計歳入歳出決算の認定／令和7年度伊予市水道事業会計決算の認定／令和7年度伊予市下水道事業会計決算の認定	継続審査
議案第 85	令和7年度伊予市水道事業会計未処分利益剰余金の処分	原案可決
議案第 86	姉妹都市の提携	原案可決
議案第 87	伊予市行政手続条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第 88	伊予市印鑑条例及び伊予市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第 89	伊予市景観条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第 90	伊予市児童厚生施設条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第 91	伊予市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第 92	愛媛地方税滞納整理機構規約の変更	原案可決
議案第 93	愛媛県後期高齢者医療広域連合規約の変更	原案可決
議案第 94	令和8年度伊予市一般会計補正予算(第7号)	原案可決
議案第 95	令和8年度伊予市一般会計補正予算(第8号)	原案可決
議案第 96	令和8年度伊予市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第 97	令和8年度伊予市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第 98	林道石畳上灘線災害復旧工事請負契約	原案可決
諮問第 3～5	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める	同意
発議	決算審査特別委員会の設置	原案可決
議選	決算審査特別委員会委員の選任	選任

賛否が分かれた議案等と結果

○…賛成 ×…反対 ―…欠席 棄…棄権
※議長は表決に加わっていません。

議案番号	議 案 名	結 果	久保光幸	平塚優美	西岡勝志	福井真之介	上田沙耶	吉田貴則	正岡満	森川建司	川口和代	向井哲哉	大野鎮司	高田浩司	北橋豊作	日野猛仁	門田裕一	田中弘
議案第94号	令和8年度伊予市一般会計補正予算(第7号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	棄	○	議長	○	○	○	○	○	○
議案第95号	令和8年度伊予市一般会計補正予算(第8号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

市政を問う

一般質問

一般質問とは

市のさまざまな政策や課題などについて、議員が市長や市の担当部局に直接質問する場です。予算の使い方や福祉、教育、まちづくりなど、幅広いテーマについて議論が行われ、わたしたちの「これから」を決める大切な役割を持っています。

ここが本番のライブ感！

質問は1問につき3回まで。質問時間は1人30分で、市が答える時間は含みません。

① 1回目の質問(事前の準備)

議員が事前に質問の要旨(原稿)を提出し、市もそれに沿って答弁の準備をします。

② 2回目・3回目の質問

市の答弁を聞いた上で「もっと詳しく知りたい」「そこは違うのでは?」と思ったことを、議員はその場で考え、再度質問します。もちろん、市もその場で答弁を考え、市長や担当者が自分の言葉で答えます。

原稿なしの「真剣勝負」が繰り広げられるのが、一般質問の醍醐味です！

9月議会では、6人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。全質問項目は下記をご覧ください。8ページから質問した議員ごとに1～2問の質問を要約してお伝えします。

なお、全文記録(議事録)は12月上旬に市ホームページの会議録検索システムへ掲載しますので、ぜひご覧ください。

※色付きの質問は、次ページ以降に掲載しています。

正岡 満 議員 (P 8)

- DAISプロジェクト
- 災害時協力井戸と防災井戸



福井 真之介 議員 (P 8)

- 原発特措法
- 『農』。一次産業の振興とそれに向けた庁内組織の再編について問う



川口 和代 議員 (P 9)

- 健診に、ひと工夫
- ため池について
- 節水について
- ちょっと、ごみについて



吉田 貴則 議員 (P 9)

- 伊予市上屋倉庫
- 伊予市公共施設等へのネーミングライツ
- 公用車、市内を走行する車両等、市が管理する物件に広告を掲載しては



平塚 優美 議員 (P 10)

- 災害時におけるペット同行避難の体制整備
- 届出避難所登録制度の活用促進と地域防災力の向上



大野 鎮司 議員 (P 10)

- 3万人が住み続けられる伊予市へ(婚活支援編)
- 伊予市ブランド認定制度
- 学校給食センターの防災機能
- 移住・定住・関係人口施策の効果検証



公共施設へネーミング ライツの導入を

よしだ たかのり
吉田 貴則 議員



問 ネーミングライツを導入しては

民間企業の資金や知恵を活用し、財源確保、施設の魅力向上のためにネーミングライツの導入が多くの自治体で行われている。本市にはスポーツ施設、公園、文化ホールなどがあり、積極的に活用すべきと考える。市内外から多くの方が集う、しおさい公園や公園内の市民体育館、競技場、球場、テニス場、施設本体だけでなく付帯設備にも少額設定して検討してはどうか。

答 財源確保につながると考える

体育館、球場、競技場は大会、イベントなどの開催により多くの方が訪れ、ネーミングライツの対象施設として検討する価値があると考え。過去には市民球場へのネーミングライツ導入に向け、市内業者に提案し、協議を行った経緯もある。しかし、人口規模、市外からの利用者数などを考慮し、費用対効果が見込みにくく導入には至らなかったため、現段階では新たな命名を行う予定はない。

問 市管理の車両への広告掲載を

市内を走行する公用車の側面にマグネットシートで広告を掲載してはどうか。少額設定しやすく、導入しやすく、認知されやすいと考える。市内を毎日走行する給食配送車、コミュニティバスも同様に、走る広告塔として募集してはどうか。

答 可能性について調査・研究する

企業とタイアップし、財源の確保も得られる有効な手段だと認識している。官民連携を示しつつ自主財源の増加にも資するよう制度設計に取り組みたい。給食配送車については広告の内容、企業イメージ、衛生管理に問題がないかを考慮し研究していく。コミュニティバスについては運行事業者と協議を行い導入の可能性を探っていく。

健診にひと工夫 など

かわぐち かずよ
川口 和代 議員



問 骨密度測定の対象年齢を問う

本市の集団健診の各種検診のうち、骨粗しょう症の骨密度測定については、現在「40歳～70歳」が対象年齢となっている。市民は70歳になったら、ほっとかれ感を抱いてしまう。国の予防医療の観点からであろうが、年齢制限なしにできないか。そして、高齢者のいきいきサロンやイベントで貸し出しできる簡易骨密度測定器を購入できないか。

また、子育て中の親は、自分のことは後回しになってしまうので、子どもの1歳半や3歳児健診にあわせて保護者も一緒に健診できないか。

答 対象年齢の上限を撤廃する

令和9年度から骨密度測定の対象年齢の上限を撤廃し、市民のニーズに応じて適宜検査を受けられるよう調整していく。なお、簡易骨密度測定のパイプラインについては考えていない。

また、子どもの健診にあわせて保護者も健診を受けるのは、運用面や人的体制面での課題があり、実施は困難である。

問 水の状況の見える化を

市外から転入してきたご家庭や若い世代に伊予市の水事情を知ってもらいたい。水の状況の危険度を「見える化」して、ホームページや市庁舎、公民館・学校などに表示できないか。また、「節水シャワーヘッド購入助成金」の実施を提案する。

答 視覚的に分かりやすく発信する

「節水対応水位との比較」や「危険度の色分け表示」などを早急に対応し、視覚的に分かりやすい情報発信に努める。また、市の公式SNSの活用や市庁舎などへの掲示など、効果的な周知啓発手法も検討していく。購入助成金については、現時点で新たな助成制度を創設することは困難である。

原発特措法を問う など

ふくい しんのすけ
福井 真之介 議員



問 国の財政支援を要望した事業は

福島第一原発事故後、原発から30km圏内の自治体にも避難計画策定が求められるようになり、避難道路などの整備を財政面から支援するため、原発特措法の対象区域が拡大された。対象自治体には防災インフラ整備など地方債への交付税特例措置(実質地方負担最大13.5%)など手厚い財政支援が講じられ、負担が大きく軽減される。伊予市において支援を要望した具体的な事業は。

答 協議・調整中の段階である

振興計画への位置付けに向けた協議・調整を行っている段階であり、現時点で個別具体の事業の正式な支援依頼は行っていない。早期に最大限活用できるよう努める。

問 『農』。一次産業振興に向けた 庁内組織の再編について

守る産業から稼ぐ産業へ転換するため、製造業・商業・観光・ふるさと納税などと連携し、地域内で加工から販売まで行う仕組みが必要である。農林水産物の高付加価値化や販路開拓を横断的に進める「一次産業戦略室」などを設置してはどうか。10年後の一次産業をどう描き、どう実現するのか。

答 既存の組織体制を有効活用

農林水産物の高付加価値化、6次産業化、販路開拓には、市役所内の横断的な連携が不可欠であり、関係部署による月1回程度の情報共有やテーマ別プロジェクトチームを設け、連携を強化していく。また、副市長をトップとして関係部署が参加する「第一次産業戦略会議」のような庁内横断組織についても設置を含めた協議を進め、一次産業から加工・流通・販売・観光までを一体化し、稼ぐ地域産業の実現を目指し取り組んでいきたい。

災害時協力井戸と 防災井戸

まさおか みつる
正岡 満 議員



問 災害時協力井戸の登録申請は

近年の多発する災害に対し、防災対策を意味する災害時協力井戸は、地震や風水害などによる大規模な断水が発生した際に洗濯やトイレ清掃などの生活用水を近隣住民へ提供するために、自治体が個人や事業所の井戸を事前に登録し、自治体から指定を受けた井戸の所有者が災害時に無償提供する制度である。その登録の申請期間と指定を受けた協力井戸の公開方法を問う。

また、自治体が主導して避難場所や防災拠点に整備している防災井戸の現状を問う。

答 随時受け付けをしている

申請については、期間を設けず随時受け付けをしている。各地区の自主防災組織をはじめ多くの市民や所有者の皆さまに制度の趣旨への理解と協力をいただけるよう、引き続き積極的な周知に努める。なお、登録された井戸の情報は、所有者に同意をいただいた範囲で公表を予定している。

また、本市が設置している防災井戸については、昨年度に清掃・復旧を実施した市内3校の小・中学校において生活用水として使用可能と判断したことから、今後は避難所運営マニュアルに位置付け、災害時の重要な水源として活用する。さらに、市役所本庁舎駐車場の貯水槽を主として飲用水に、またIYO夢みらい館前広場の貯水槽を消火用水や生活用水としての利用を想定するなど、総合的な水源の確保に努めている。



避難所として生活用水を確保するために整備された北山崎小学校の防災井戸

議会のおもな動き

先進事例を学ぶ 行政視察報告

議会運営委員会 7/30▶31

あげおし 埼玉県上尾市

【調査項目】9月会期中の決算審査の在り方

上尾市では、前年度決算の結果を次年度の予算編成に生かすため、9月定例会で決算特別委員会を設置し、会期中に審査、委員長報告を行っている。その後、全会一致で合議した事項を「決算特別委員会から市に対する提言」としてまとめ、市長に提出しているとの説明を受けた。

【視察を終えて】

決算審査委員会からの提言を次年度予算に反映させる仕組みは、本市にとって参考になる反面、日程調整や職員の負担が増えるなど課題が考えられる。そのため、実現するには継続してさまざまな検討を行う必要がある。決算審査と予算審査の「提言」と「監視」の関係を構築していきたい。



ひだかし 埼玉県日高市

【調査項目】議会のSNS運用について

日高市では、議会の情報発信と表現の自由の在り方について、「日高市議会議員政治倫理規程」にて議員の責務を定めた上で、「日高市議会ソーシャルメディアの利用に関するガイドライン」を策定し、指針を示している。そこで、策定に至った経緯や策定後の状況についての説明を受けた。

【視察を終えて】

個人の表現の自由を束縛することはできないが、議員が他人に迷惑をかける発信をしてはいけない。そのような事案が発生した場合、議会が発信者に対し毅然とした態度で臨む必要がある。議会で情報共有を行い、公人として常識をわきまえ品位ある言動を心がけようとの結論に至った。



全国 ▶ 伊予市 伊予市のこんな取り組みが学ばれています

日程	視察団体	人数	調査事項
5月12日	富山県小矢部市議会 総務産業建設常任委員会	10人	伊予市版地域DNOを核としたアドボカシー重視の持続的可能な観光・交流地域づくり
8月6日	福島県議会 総務委員会	11人	南海トラフ地震に関する取り組み



◀ 福島県議会の視察の様子

福島県議会が、「南海トラフ地震関連の取り組み」をテーマに視察に訪れました。EV（電気自動車）の活用やジュニア防災検定など本市の取り組みの説明に加え、活発な意見交換が行われ、防災力向上に向けて実りの多い学びの時間となりました。

伊予市ブランドを認定から 売れるブランドへ

おおの 大野 鎮司 議員



問 「売れるブランド商品」を

伊予市ブランドとして認定し、市内外へPRすることは、市の知名度向上だけでなく、地域産業の振興にもつながる重要な取り組みだと考えている。また、もう一つ、ブランド認定制度について、大切なことは「ブランドに認定されたことで、事業者は本当にメリットを感じているのか」。

ブランド認定をゴールとせず、認定後に売り上げや販路が伸びる制度にすべきではないか。伸びる可能性の高い商品への重点支援や、専門的な知見を取り入れ、新たな「売れるブランド商品」を生み出す取り組みを進めてはどうか。

答 専門知見を生かし新ブランド開発

認定を通過点として販路拡大や認知度向上を後押しし、事業者の「稼ぐ力」を育成したいと考えている。認定事業者には、販路拡大や包装改良、情報発信などに最大10万円を補助している。今後は支援策の充実や制度の見直しを検討し、パティシエやアートクリエイターなど専門人材の知見も取り入れ、新たなブランド商品の開発につなげる。

問 認定後の成果を検証すべきでは

せっかくブランド認定制度を作っているのであれば、もっと事業者にとって価値のある制度にしてほしいと考える。伊予市ブランドは50品、28事業者が認定されている。認定によって売り上げや販路、取引先が増えるなど、事業者がメリットを実感しているのか。認定後の成果を把握し、制度の効果を検証すべきではないか。

答 事業者アンケートの実施を検討

現在は3年ごとの更新審査で販売状況などを確認している。今後は認定事業者へのアンケート調査を実施し、売り上げや販路拡大の状況、制度への評価などを丁寧に把握する仕組みを検討する。

ペット同行避難と届出 避難所登録制度

ひらつか 平塚 優美 議員



問 災害時のペット避難体制整備

ペットを飼う人が避難時に困らないよう周知や訓練に加え「自身の備えやマナー訓練」といった自助意識を高めることが大切だと考える。実践訓練の再開や車中泊・在宅避難も含めた多様な避難形態への啓発、NPO法人などとの連携、専用スペース確保など実効性のある体制や訓練が必要ではないか。

答 訓練やマニュアル策定で対応を強化する

総合防災訓練時にペット防災ブースを設けNPO法人などと連携して啓発を図る予定にしている。また、車中泊など避難方法に応じた適切な情報発信を通じて、市民の「自助意識を高める」取り組みを推進する。さらに、関係部署との連携を強化し、初動対応マニュアルの策定など多様なニーズに応じた受入体制の構築に努めていく。

問 届出避難所登録制度の活用促進を

災害時に自分の足で避難できる「届出避難所登録制度」は、自主防災組織が自分達で開設・運営する画期的な仕組みである。制度の周知や積極的な働きかけ、備蓄倉庫から遠い地域の不安解消、土砂災害警戒区域など立地制限の対応を進め、施設改修や運営費などの負担に市としてどう寄り添い支援するのか。

答 相談対応や支援等で活用を促進する

地域自主防災組織への周知を図り、地域の状況やリスクに応じた対応を進める。初期備蓄物資の事前配備や免責規定の設置などに加え、施設改修などの課題についても、関係部署と連携し、補助金の案内も含め地域の実情に応じたサポートを行い、地域が取り組みやすい環境を整えていく。

中学生を支える情熱指導者

子どもたちと一緒に
楽しみながらがんばります

(一社) SASAERU

アジャイ アーノルド さん (ア)

山本 和弥 さん (山)



指導者になろうと思った
きっかけは？

(ア) スポーツへの情熱があり、子どもたちにオレンジ色のボールを好きになってもらう手助けをしたいからです。

(山) 選手だけでなく、指導者も経験してみたいという思いがありました。

指導者をして楽しかったこと、
よかったことは？

(ア) バasketボールは技術を磨くだけでなく、仲間と協力することの大切さや、諦めずに挑戦する心を学べる素晴らしいスポーツです。練習は大変でも、経験がみんなの未来を強くしてくれると感じています。

(山) 子どもたちの意欲的に取り組む姿勢や成長を感じられたことです。

心がけていることは？

(ア) 小さな成長をたくさん褒めて、自信を持ってプレーできるようにサポートすることです。

バスケットボールを愛する指導者の姿に、生徒は追いつけず、ワクワクしました。



うえだ
委員



ひらつか
副委員長



(山) 第一にBasketボールをもっと好きになってもらうことを大切にしています。その中で技術も自然と成長していけばいいと思っています。

生徒へのメッセージ

(ア) もっとBasketボールを好きになってくれたらうれしいです。一緒に楽しくオレンジ色のボールを追いかけましょう！

(山) Basketボールは厳しい練習が多いと思いますが、がんばっていきましょう。

編集後記

伊予市では、地域のスポーツ団体や指導者など、地域の力を生かした中学校部活動の地域展開を先進的に進めています。「やってみたい」と思える選択肢を増やし、地域全体で生徒の可能性を広げる新しい部活動の形を目指しています。変わる部活動の指導者や練習風景を紹介していきます。今後にご期待ください！



よしだ委員

令和8年熊本地震 災害義援金について

伊予市議会は、令和8年熊本地震による被災地を支援するため、義援金として16万円を九州市議会議長会へ送りました。被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復興を祈念いたします。

議会広報調査特別委員会
委員長 久保光幸
副委員長 平塚優美
委員 正岡 満
吉田貴則
福井真之介
上田沙耶